

保護者の皆様へ

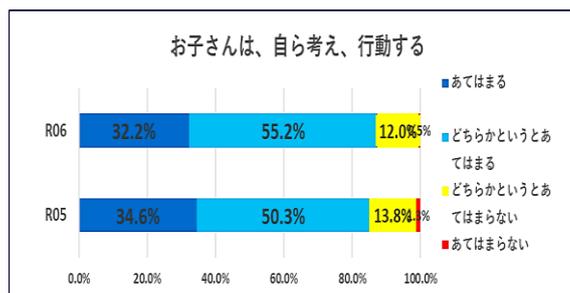
千曲市立埴生中学校

2学期末に、保護者の皆様に「埴生中学校の教育に関するアンケート」を実施させていただきました。そして、多くの皆様に回答をいただきました。ありがとうございました。
 ここでは、学校目標と重点目標の達成度について、生徒に実施したアンケート結果も含めご報告します。また、保護者の皆様に書いて頂いたご意見と回答について、抜粋したものを載せましたのでご覧ください。

令和6年度 学校自己評価の報告

1 令和6年度 学校目標「自主自律」について

右グラフは、保護者アンケートの項目「お子さんは、自ら考え自ら行動しているか」の回答結果です。昨年度よりも「よくあてはまる」「あてはまる」と肯定評価した回答が若干増えています。子どもたちの成長を家庭でもしっかりと評価していただいていることが伺えます。



2 本年度の重点目標から

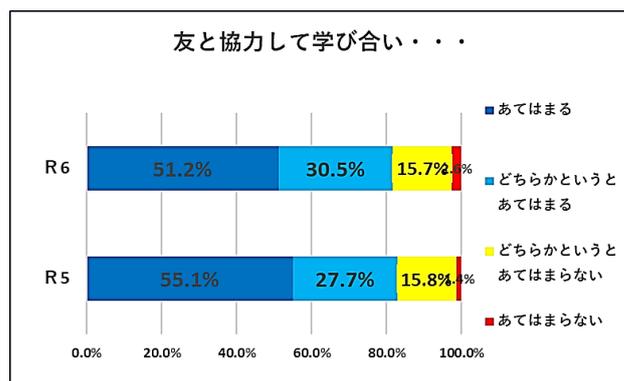
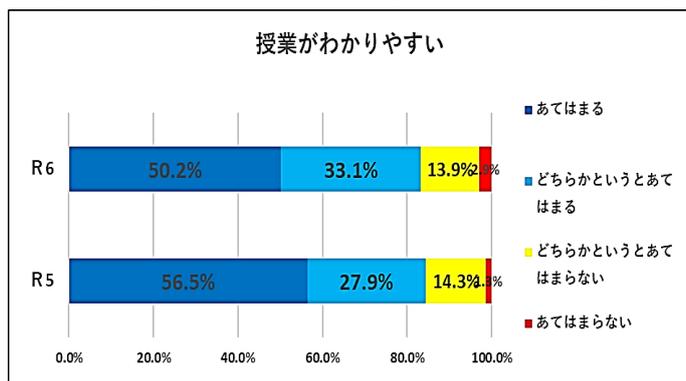
「変化に対応する力」「課題を解決する力」「発信する力」

- 「chromebook を活用した4人グループの学び合い」
 - 全ての教科「主体的・対話的で深い学び」の授業改善
 - 学び合い「受援」「傾聴」「発信」を大切に授業づくり
 - 「競争」から「協働」へ 学びの意識転換
- 総合的な学習の時間「おとり学」
 - ふるさと学習における探究的な学び
 - キャリア教育の充実
 - 持続可能SDGsな学校づくり
- 多様な学びの場
 - 生徒支援の充実 毎週水曜日「自学と相談」
 - 特別支援教育の充実 ■放課後学習
 - 交流活動の充実

学び合い

左下グラフは、「わかりやすい授業、達成感、成就感を味わえたか？」についての結果で、肯定的な回答が83%で昨年度並みとなりました。右下グラフの「友と協力して学び合い、課題を深く追究できたか」についても肯定的な回答が、82%で昨年度並みとなりました。

一昨年度より継続して力を入れて取り組んでいる「クロームブックを活用した4人グループによる学び合い」が、今年度も引き続き、どのクラス、どの授業でも実践されたことにより、友との学び合いを楽しみにして授業ができていますと評価できます。また、友との学び合いを通して、見方・考え方の共通点、相違点を理解することで、自分の考えが広まったり、深まったりしていると考えられます。



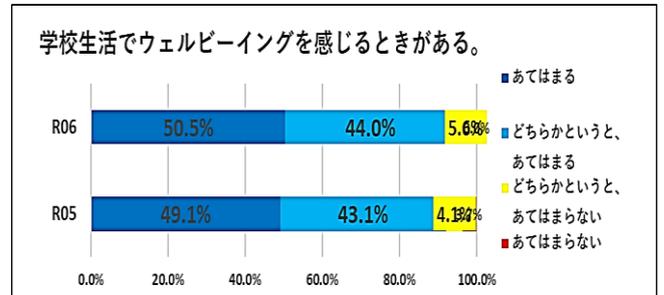
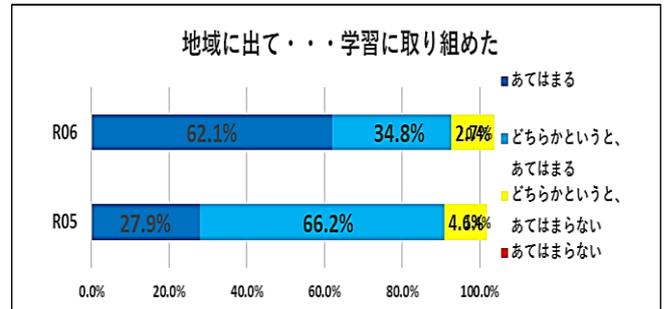
地域学習・ウェルビーイングに関するアンケート結果

右上グラフは、「地域学習（総合的な学習）の取り組み」についての結果です。また、右下グラフは、「学校生活でウェルビーイングを感じる時があるか」についての結果です。どちらも生徒の肯定的な回答が概ね9割以上あります。昨年度から実施している1日総合では、どの学年も地域に出て『ひと・もの・こと』に触れて、地域のよさを再発見したり、地域をよりよくしたいという学習に取り組めたりした様子が伺えます。（市民プール周辺清掃活動なども含め）

学習の様子は、「おおとり祭」「参観日」などで発表をさせていただきました。また、重点目標である「すべての生徒にとってウェルビーイングな殖生中」に向け、全職員が一枚岩となり日々授業改善、生徒理解・支援を丁寧に行ってきたこともあり、多くの生徒がウェルビーイングを感じることができていると評価できます。

下のグラフは、ウェルビーイングを感じる場面についてのアンケート結果です。項目を『授業中』『交流会（生徒集会）』『友達との関わり』『部活動』『行事』『その他』にして、複数回答可で答えてもらいました。一番多かったのが『友達との関わり』でした。これは授業中、休み時間、生徒会（交流集会）、部活、行事などすべての教育活動の中で、友達との関わりが、居心地のよさ、心の安定、日々頑張れるモチベーションなどにつながっていることが読み取れます。

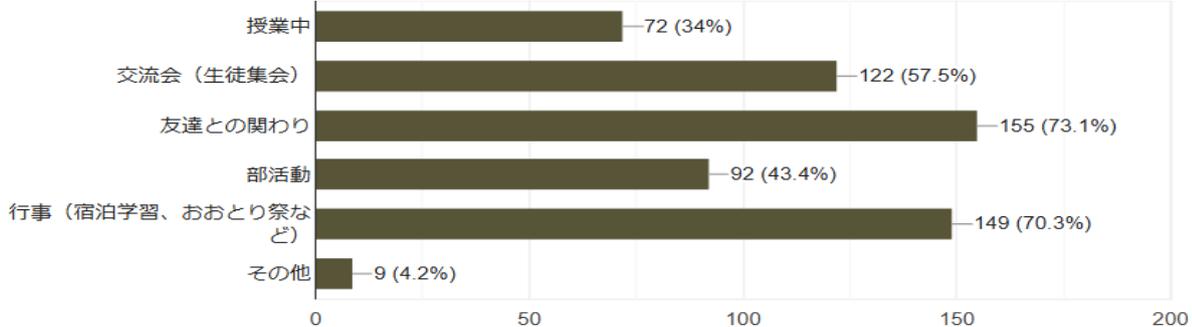
来年度も総合的な学習などを通じた「地域学習への取り組み」「すべての生徒にとってウェルビーイングな殖生中」を重点活動に据え、充実した学校生活、多様な学びの場を保障し、各教科や総合的な学習をさらに充実させたいと考えております。



☆具体的にどんな場面でウェルビーイングを感じたか教えてください。

*複数回答可

212件の回答



気になるアンケート結果

今年度の学校運営の柱である、クロームブックの活用、4人1組のグループ活動、地域学習については、生徒、職員ともに高く評価されているのですが、学習支援に関する「わからない問題があったときに、先生に質問に行った」のアンケート結果が気になりました。職員は、自学・相談の時間も含めて質問に対応（100%）していたのに対し、昨年度より13%増えているが、生徒は77.7%と約20%以上の大きな差がありました。生徒や保護者の感想には、学習についていけない生徒への支援や対応の要望も寄せられていました。今後も、授業中でつまづきがある場合の支援や、困ったり、行き詰まったりした生徒を見逃さず、全員が理解できるような授業改善に努めてまいります。また、相談しやすいように、授業中に声がけしたり、自学・相談でも、学習へのつまづきについて話をしたりして対応していくようにしたいと思います。ご家庭でも、生徒の家庭学習やテスト結果表などで学習の様子をみて、声がけ、励ましなどしていただけるとありがたいです。

II 学習面について

No.	質問内容	職員	生徒	保護者
1	各教科の授業は分かりやすい。	100.0%	94.2%	74.9%
2	授業の内容が理解できた。	100.0%	91.5%	67.8%
3	授業では、ねらいやゴールが示されている。	88.2%	87.9%	
4	授業の終わりに、授業を振り返る場や学習した内容をまとめる時間がある。	81.3%	80.4%	
5	授業の中に、自分の考えを説明したり、発表したりする場面がある。	81.3%	85.7%	
6	分からない問題があった時に、先生に質問に行った。	100.0%	77.7%	
7	テスト勉強や授業の復習など宿題以外の学習を頑張った。	66.7%	87.5%	50.0%
8	chromebookを授業で活用して学習する場面がある。	88.2%	99.1%	
9	授業の中に、4人グループで仲間の考えを聞き合ったり、課題解決する場面がある。	76.5%	96.4%	
10	4人グループでの学習では、意見を伝えあえたり、疑問に思っていることを質問しあう場がある。	83.3%	90.6%	
11	地域に出て、ひと・もの・ことと出会い、地域のよさを学び、よりよい地域づくりに学習に取り組めた。	82.4%	96.9%	65.6%
12	学校生活の中でウェルビーイングを感じる時がある。		94.4%	

2 精一杯活動

<精一杯清掃できたか>

清掃については、昨年度同様に約9割は肯定的な回答がありました。一昨年度から黙想を復活させ、心を落ち着かせてから清掃を行うようにしました。今年度は、環境委員会中心に、「目指せ！！三昧清掃」として、期間を決めて取り組みの様子を振り返ったり、素敵な清掃をしている分担場所を紹介したりしました。その結果、清掃を一生懸命取り組む生徒が多くいたと考えられます。ただ、先生方の生徒への肯定的な評価は、10%低くなっていました。取り組みの差が生じないように、引き続き「清掃してよかった」「気持ちよかった」という成就感・達成感を味わえたことや頑張っている姿を共有できるような場や企画を清掃委員会など中心に推進していきたいです。

<挨拶ができたか>

「大きな声と笑顔で挨拶ができたか」（保護者には、「家庭で『おはよう』『おやすみ』等の挨拶ができていますか」）の調査結果です。生徒・保護者共に、「あてはまる」の評価が昨年度より増加しています。特に、保護者の評価は約5%伸びており、家庭でのあたたかな対応の成果と考えられます。

また、総合的な学習などで地域に出る活動も多く、挨拶が大切に行われていることも成果として考えられます。

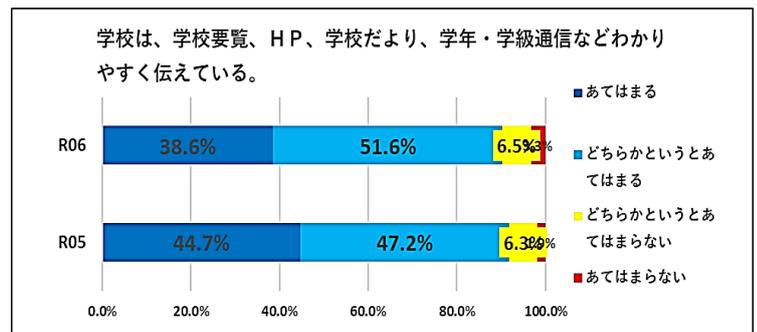
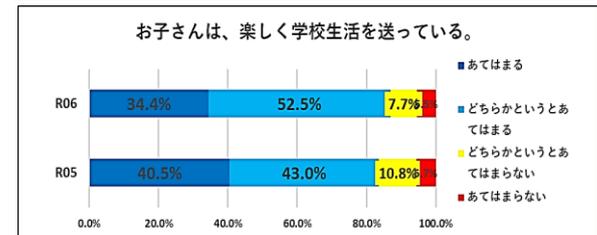
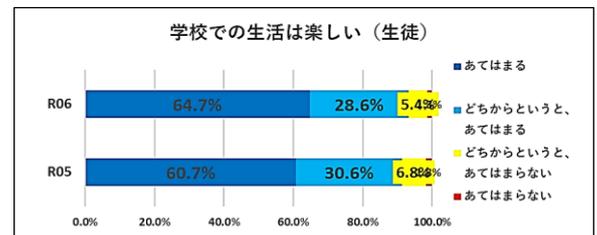
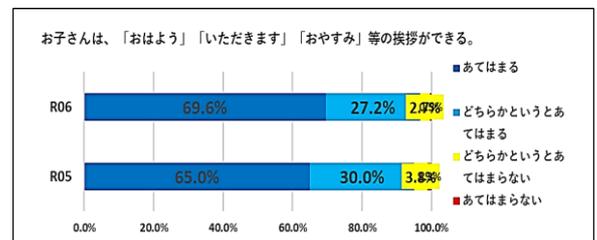
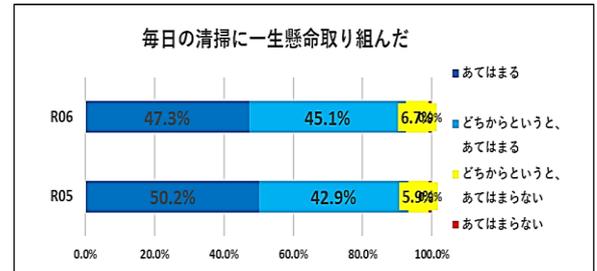
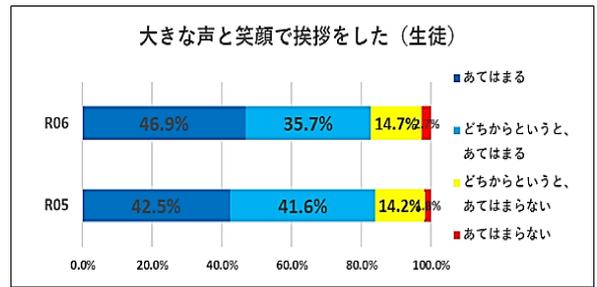
学校においては、場に応じた気持ちよい挨拶ができるよう、「挨拶の質」をさらに向上させていきたいです。

<学校は楽しいか>

「学校での生活は楽しいか（生徒）」「毎日元気良く登校しているか（保護者）」の調査結果です。昨年度に比べ、生徒の肯定評価は若干増えています。本年度は、年2回の1日総合や生徒会企画交流集会があり、行事や日々の学校生活での満足度が上昇していると考えます。しかし、中には「あまりそう思わない」と感じている生徒もいます。生徒一人ひとりに寄り添い、友達関係等、生徒の変化をしっかり見守り、家庭と連携して支援をすすめてまいります。

3 その他（情報公開について）

右のグラフは、保護者に対して「要覧、ホームページ、学校だよりなどで、学校の様子などを分かりやすく伝えているか」の回答結果です。昨年度同様に、肯定的な評価も含めると、9割以上を超える方々に肯定的評価を頂いております。定期的な学校・学年・学級通信の発行などで、学校の様子がタイムリーに伝わっていると評価できます。また、Home&School等の活用で、色々なお知らせやアンケートがWeb上ででき、教師、保護者ともに上手く活用できていると評価できます。さらに、よりよい活用方法を模索しながら、学校の連絡や様子を学級・学年・学校だより、ホームページや、H&S等で情報提供していきたいと思っております。



<全国学力学習状況調査（3年生4月実施）の結果>

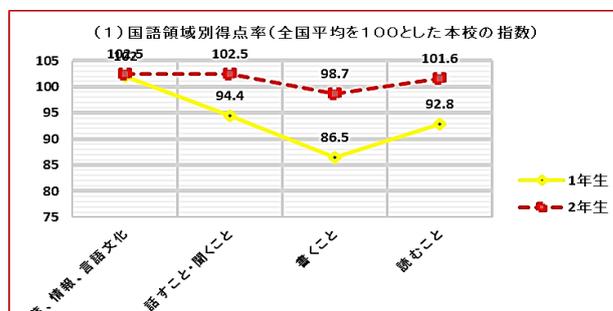
本校の3年生が4月に取り組んだ全国学力学習状況調査の千曲市の結果は右の図の通りになります。本校では、国語は全国・県と比較してやや下回り、数学では、全国と比較するとやや下回り、県と比較すると同程度という結果になりました。本校の課題として、「内容の理解を進めながら読むことや、前後の文脈を把握しながら読むこと」と、「自分で学んだ内容や得た情報を整理してアウトプットすること」があげられます。

調査科目	平均正答率の比較・調査結果の概要	今後の取組
中学校3年生	○全国・長野県と同程度 全国的に課題とされた記述式の問題が、全国と比較して無答率も低くよくできています。発言で指し示している図・資料の適切な部分を選択する問題でやや課題がありました。	文章とともに示されている図表や写真について「それがあることでどんな作者の意図がわかるのか」を考えるような学習を充実させていきます。
	○全国・長野県と同程度 全国的に課題とされた箱ひげ図の問題が、全国と比較してよくできています。全国的に課題とされている「データの分布の傾向を捉え、判断の理由を説明すること」では同様の傾向も見られました。	言葉と数を使って根拠を示しながら説明し合う活動を継続し、答えが正解ならば終わりという授業ではなく、主体的に別の解き方についても追究していくような学習を充実させていきます。

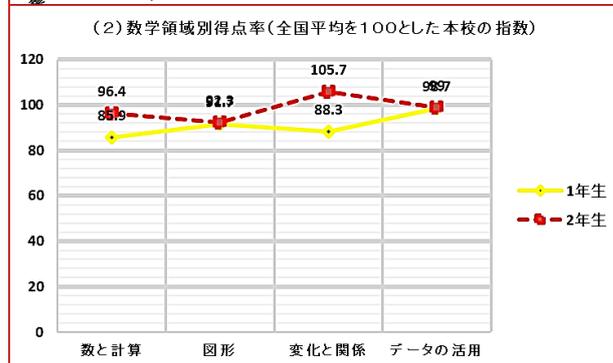
「各段落や文から、重要な語句等を見つけ、アンダーラインを引くなどの活動」や「個々の追究した分析結果や学んだ内容をグループや全体で比較検討する時間を多く確保しながら、演習時間を取り、行った活動のふりかえりがきちんとできるようにすること」を、これまで取り組んできているクロームブックを活用した4人グループの学び合いの中に取り入れながら、職員と共有し、授業改善に取り組んできています。

<ベネッセ総合学力検査（1，2年生4月実施）の結果>

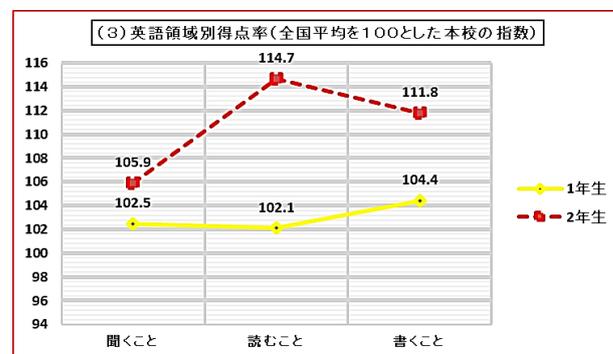
右のグラフ（1）は、国語の領域別得点率で全国平均を100としたときの本校の結果を示したものです。これを見ると、1年生の国語では、領域別の結果の「言葉・情報・言語文化」以外で、全国平均を下回りました。2年生の国語では、領域別の「言語・情報・言語文化」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」で全国平均を上回りました。1，2年生とも「書くこと」に課題が見えてきました。検査の結果を受け、生徒の実態に応じた支援に取り組んでいます。ICT利用を推進しているのですが、思いや考えと作文など紙に実際に書くことも大切にしていける必要性も感じられます。



右のグラフ（2）は、数学の領域別得点率で全国平均を100としたときの本校の結果を示したものです。これを見ると、1年生の数学では、領域別の「数と計算」、「図形」、「変化と関係」、「データの活用」の全ての領域で、全国平均を下回りました。2年生の数学では、領域別の「変化と関係」で、全国平均を上回り、「データの活用」では全国平均を大きく下回りました。2年生の「変化と関係」については、身近な問題を関数と見なしグラフ・式・表に表現して分析したり、分析結果を共有し話し合ったりして、深く追究できるように取り組んだ成果がでていると考えられます。



右のグラフ（3）は、英語の領域別得点率で全国平均を100としたときの本校の結果を示したものです。1，2年生ともに、「聞くこと」、「読むこと」「書くこと」すべての領域で全国平均を上回りました。授業の中で、会話をする場面を多くしたり、英語の先生やALTの先生とコミュニケーションを多くとれるようにしたり、話す・読むことを楽しめるように取り組んでいる成果がでていると考えられます。



3教科ともに、1年生では、小学校の問題が出題されているので、課題のある分野や単元で学び直しや補完をしながら授業を行っております。来年度その成果がでてくるとよいと考えて取り組んでいます。

～お褒めの言葉～

○いつもありがとうございます。先生方同士の連携が素晴らしいです。

お忙しいのに丁寧なご対応に感謝しております。

○いつもありがとうございます。学校、教室以外にも様々な場所で過ごした中学校生活でしたが、そのどれも本人にとって大切な時間であると認めていただけていたことが、大きな救いだったと思います。いつも迅速に、柔軟に対応していただき、また親子ともども先生方に親身になって寄り添っていただき、とてもありがたく感じました。クラスでも、それぞれの多様性を認め合う雰囲気があり、いつ行っても変わらずに迎えてくれる仲間がいて、それぞれの強みを活かして輝ける場面をいくつも作ってくださっていると感じました。いろいろな葛藤のなか揺れ動く年頃の子どもたちを、大変温かく見守り育てていただける環境に、心から感謝しています。ありがとうございます。

○校長先生、毎朝昇降口で子供達をお出迎え頂きありがとうございます。

～ご意見や要望～

<学習に関わること>

○授業中の個々の生徒への対応について

⇒個々の支援方法や対応について全職員で確認、共有しました。すべての生徒が安心、安全に生活できるように生徒の不安や保護者の方のご意見に寄り添い対応していきたいと思います。

○家庭学習について

⇒これまでは、家庭学習については、各教科や教科担任の先生にお任せして、出題内容等は生徒に示しておりました。今後は、教科主任会や研究主任会で検討して、どのように日々の授業や家庭学習を行うか資料を作成し、生徒に説明できるように検討しております。家庭でも学習したくなるような授業づくりや、授業改善にも力を注いでいきたいと思います。ご家庭でも、様子をみていただき、ご指導いただければありがたいです。

○授業中の雰囲気・環境やグループ学習について。

⇒全ての生徒が安心、安全に、授業や生活できる雰囲気や環境をつくっていくことは大切なことだと考えています。今後も、席替えやグループ活動などでもウェルビーイングに生活できるように配慮して参ります。

<学校生活全般に関わること>

○学校から配布するプリント類や情報公開について

⇒電子化して送るものと、紙ベースで送るものと検討して、送信、配布していく予定です。

学級閉鎖情報などは、該当クラスのみでしたが、今後は全員に公開していく予定です。

事前にお知らせできることは、できるだけ丁寧に資料として配付、お知らせしていきます。

もし、気になる点や疑問に思われる点があれば、遠慮なく学校まで問い合わせしてください。

○学年、学級での生徒理解、支援について

⇒全ての生徒が安心、安全に生活できるように生徒の不安・困り感や保護者の方のご意見に寄り添い対応していきます。担任にすべての負担をかけるのではなく、朝のウェルビーイングチェックでの生徒理解・把握や「自学・相談」の時間で行ったように、全職員で相談にのり、日頃から丁寧に生徒を観て、適切な支援ができるようにしていきます。*教科授業についても同様